

3 動詞・形容詞・形容動詞

動詞

1 動詞の性質

- ・ 自立語で活用する。
- ・ 単独で述語になることができる。
- ・ 動作・作用・存在などを表す。

2 語幹と活用語尾

- ・ 語幹 活用したときに、形が変わらない部分。例「書く」の「書」。
 - ・ 活用語尾 活用したときに、形が変わる部分。例「書く」の「く」。
- 「か・き・く・け・こ…」などと変わる。

3 動詞の活用形

- ・ 未然形 まだ起こっていないという意味を表し、「ない・ぬ・う(よ)う」・れる(られる)・せる(させる)」などに続く形。
 - ・ 連用形 用言や「、」や「ます・て(で)・た(だ)」などに続く形。
 - ・ 終止形 「。」や「と」から「けれど・ね・わ」などに続く形。
 - ・ 連体形 体言や「の」・「に」などで続く形。
 - ・ 仮定形 「〜すれば」のように仮定の意味を表し、「ば」に続く形。
 - ・ 命令形 命令して言い切った形。
- * 動詞の音便おんべい 五段活用の連用形に「て(で)・た(だ)」が続く場合、特別な形(音便)になる。

4 動詞の活用の種類

- ・ 五段活用 五十音図の五段にわたって活用する。例「聞く」
- ・ 上一段活用 五十音図のイ段に活用する。例「起きる」
- ・ 下一段活用 五十音図のエ段に活用する。例「寝る」

- ・ 力行変格活用 力行で変則的に活用する。「来る」一語だけ。
- ・ サ行変格活用 サ行で変則的に活用する。「する」とその複合動詞(例「協力する」)だけ。

基本形	語幹		活用				尾
	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	
聞く	き	き	く	く	け	け	
起きる	お	き	きる	きる	きれ	きよ	
寝る	語幹がない	ね	ねる	ねる	ねれ	ねよ	
来る	語幹がない	こ	くる	くる	くれ	こい	
する	語幹がない	し	する	する	すれ	せよ	

* 他動詞・自動詞 「何を」という対象を表すことを必要とするものを他動詞、必要としないものを自動詞という。

例 人を集める。(他動詞) 人が集まる。(自動詞)

* 可能動詞 「〜できる」という意味を表す動詞。五段動詞からできたため、対応する五段動詞がある。下一段活用で命令形はない。

例 英語が話せる。(対応する五段動詞は「話す」)

* 補助動詞(形式動詞) その動詞本来の意味が薄れて、上のことを補助する意味に用いられる動詞。

例 補助動詞 彼は中学生である。 父に話してみる。
(動詞) 机の上に本がある。 テレビを見る。

● 形容詞

1 形容詞の性質

- ・ 自立語で活用する。
- ・ 単独で述語になることができる。
- ・ 性質・状態などを表す。
- ・ 言い切ったとき、「い」で終わる。例「よい」

形容詞の活用の種類は一つしかないので暗記してしまいましょ。



2 形容詞の活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
よい	よ	かろ	うかつ	い	い	けれ	○

*補助形容詞(形式形容詞)——その形容詞本来の意味が薄れて、上のことばを補助する意味に用いられる形容詞。

例 補助形容詞 色が美しくない。

(形容詞 机の上に本がない。)

*ウ音便——「ございます・存じます」などのことばが続く場合、特別な

形(音便)になる。例「近づいございます」「うれしいう存じます」

● 形容動詞

1 形容動詞の性質

- ・ 自立語で活用する。
- ・ 単独で述語になることができる。
- ・ 性質・状態などを表す。
- ・ 言い切ったとき、「だ」で終わる。例「元気だ」

形容動詞の活用の種類も一つしかないので暗記してしまいましょ。



2 形容動詞の活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
元気だ	元気	だろ	でだっ	だ	な	なら	○

確認問題

1 次のそれぞれの——線部の動詞を、言い切りの形に直して、書いて答えなさい。

□へいちごが先生のところに立候補を届け出ると、そのうわきはあらしのように教室の中を①かけめぐりました。②だまってしまおう者、かげ口を言い合う者。反応はさまざまですが、だれもがけっして③歓迎して④いないことは、すぐに⑤見て⑥とれました。

④	①
⑤	②
⑥	③

2 語幹について説明した次の文章の□に入る最も適切なことばを、P 6

4 「動詞の活用の種類」の活用表を参考にしながら書いて答えなさい。

□△「聞く」の「①」のように、活用したときに、形が変わらない部分を語幹と言う。ただし、「寝る」は、形が変わらない部分が「②」であるのに、語幹を「②」としない。これは、語幹を「②」とすると、③形と④形がなくなってしまうからである。このように、動詞の中には、語幹がないものもある。

①	②	③	④
---	---	---	---

③ 次のそれぞれの問いに答えなさい。

□(1) 次の動詞の活用表を完成させなさい。

主な語の例 あとに続く	⑧ 注意する	⑦ 調べる	⑥ 書ける	⑤ 書く	④ 切る	③ 着る	② 来る	① 読む	基本形	活用
									未然形	
う(よう)									連用形	語尾
ない・ぬ た(だ)									終止形	
言い 切る									連体形	
とき									仮定形	
ば									命令形	
命令して 言い切る										

□(2) ①～⑧の動詞の活用の種類を書いて答えなさい。

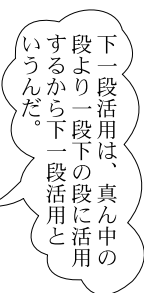


⑦	⑤	③	①
活用	活用	活用	活用
⑧	⑥	④	②
活用	活用	活用	活用

□(3) ①～⑧の動詞から、音便の形をとることがあるものをすべて選び、番号で答えなさい。

□(4) 上の活用表を参考にしながら、次のそれぞれの——線部の動詞の活用形を書いて答えなさい。

- ① 辞書で調べればわかる問題。
- ② 説明をよく読んでから問題に取り組む。
- ③ 約束したのに、彼は来ない。
- ④ 百メートルのタイムが十二秒を切る。
- ⑤ 新しい洋服を着て、デートに行く。
- ⑥ 道路を渡るときは車に注意しろ。
- ⑦ 友達に手紙を書こうと思う。
- ⑧ 感想文が上手に書けたので、満足する。



⑤	①
形	形
⑥	②
形	形
⑦	③
形	形
⑧	④
形	形

4 次のそれぞれの自動詞に対する他動詞を、書いて答えなさい。

- (1) 残る □(2) 並ぶ □(3) 乱れる □(4) 過ぎる

(1)
(2)
(3)
(4)

5 次のそれぞれの五段活用動詞から作られる可能動詞を、書いて答えなさい。

- (1) 書く □(2) 買う □(3) 言う □(4) 読む

(1)
(2)
(3)
(4)

6 次のそれぞれの——線部の、(1)形容詞と(2)形容動詞の活用形を、それぞれ書いて答えなさい。

- (1) ① 美|し|か|ろ|う ② 美|し|か|っ|た ③ 美|し|い|花
④ 美|し|け|れ|ば ⑤ 美|し|い|の|で ⑥ 美|し|い|け|れ|ど|も

(4)	(1)
形	形
(5)	(2)
形	形
(6)	(3)
形	形

- (2) ① ま|じ|め|な|の|で ② ま|じ|め|だ|ろ|う ③ ま|じ|め|だ|け|れ|ど|も
④ ま|じ|め|な|ら|ば ⑤ ま|じ|め|に|な|る ⑥ ま|じ|め|だ|っ|た

(4)	(1)
形	形
(5)	(2)
形	形
(6)	(3)
形	形

練成問題

1 次のそれぞれの動詞の活用の種類を、それぞれあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 出る □(2) 出す □(3) 覚める □(4) 覚ます
□(5) 話す □(6) 話せる □(7) 飛ぶ □(8) 飛べる
□(9) 来る □(10) 試みる □(11) 似る □(12) 勉強する
- エ カ行変格活用 オ サ行変格活用
ア 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用

(9)	(5)	(1)
(10)	(6)	(2)
(11)	(7)	(3)
(12)	(8)	(4)

2 次のそれぞれの——線部の動詞の活用形をあとから選び、記号で答えなさい。

- (4) ① 来|ま|す ② 来|れ|ば ③ 来|ら|れる
□(3) ① 言|っ|た ② 言|う|の|で ③ 言|え|ば
□(2) ① 調|べ|よ。 ② 調|べ|る。 ③ 調|べ|るもの
□(1) ① 落|ち|れ|ば ② 落|ち|ま|す ③ 落|ち|る時
④ 落|ち|ろ。 ⑤ 落|ち|な|い ⑥ 落|ち|る。

- (5) ① するようだ ② しない
 ④ するらしい ⑤ させる ⑥ せぬ
 ③ しながら

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

動詞の活用形を識別する場合には、あとに続く語に着目するんだ。だから、それぞれの活用形のあとに続く主な語を暗記しよう！



(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥

③ 次のそれぞれの文の——線部の、(A)活用の種類と(B)活用形を、あとから——
 つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) この本から多くの知識が得られた。
 □(2) あと五分で駅に着けば、電車に間に合う。
 □(3) テレビを見ながら勉強をする。
 □(4) 明日、祖父母が遊びに来る。
 □(5) ピアノを弾いているのは、私の妹です。
 □(6) 一生懸命に努力すれば、夢はかなう。
 □(7) 彼は私に、もう帰れ、と言った。
 □(8) 十二時を過ぎても姉が家に帰ってこない。
 □(9) そんなに冷たいものを飲むと、腹をこわすよ。
 □(10) 久しぶりに郷里の両親に会った。



- (9) ① 五段活用 ② 上一段活用 ③ 下一段活用
 ④ 力行変格活用 ⑤ サ行変格活用
 (B) ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

(9)	(5)	(1)
④	④	④
⑤	⑤	⑤
(10)	(6)	(2)
④	④	④
⑤	⑤	⑤
(7)	(3)	
④	④	
⑤	⑤	
(8)	(4)	
④	④	
⑤	⑤	

④ 次の文章から、①動詞をそのままの形で七つ書き抜いて答えなさい。また、
 ②その活用の種類と③活用形を書いて答えなさい。

□(A) 買い物のビニールぶくろをさげて部屋に入ってきた母親は、年齢よりも若く見える。母親は、買い物のビニールぶくろをテーブルの上に置くと、夕食のしたくをするために、エプロンをつけた。

・	・	・	・	・	・	・
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用
③	③	③	③	③	③	③
形	形	形	形	形	形	形

5 次のそれぞれの文の——線部の形容詞(1)～(9)と形容動詞(10)～(18)の活用形をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 姉は優しいので、だれからも好かれる。
- (2) 大きくて、はっきりした声で意見を述べる。
- (3) スカートの新しいが、ブラウスは古い。
- (4) もう少し早ければ、バスに乗れた。
- (5) この絵が完成したら、どんなに素晴らしかろう。
- (6) 中学生らしい格好をするように注意される。
- (7) 昨日はそれほど寒くなかった。
- (8) そんな格好では寒かろう。
- (9) ピアノの練習は、毎日やるのが望ましい。
- (10) 夜は静かだろうが、昼はうるさい。
- (11) 母親は陽気な性格をしている。
- (12) 疑問点が明らかになる。
- (13) 祖父は、いつも丈夫で健康だ。
- (14) 皆がもっと協力的なら、入賞できたかもしれない。
- (15) ウェディングドレス姿の姉は、とてもきれいだった。
- (16) 路上駐車は迷惑だからやめてほしい。
- (17) 元気がなのがぼくの取り柄だ。
- (18) 波がおだやかならば、泳げるだろう。

ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形

(10)	(1)
(11)	(2)
(12)	(3)
(13)	(4)
(14)	(5)
(15)	(6)
(16)	(7)
(17)	(8)
(18)	(9)



6 次の文章から、①形容詞をそのままの形で四つ書き抜いて答えなさい。また、②その活用形を書いて答えなさい。

□〈子雀は、声こそか細くて幼いが、小さな体でも独り暮らして力をもっている。近づくと、もう少しというところですよと飛び立ってしまう。くやしいがぼくの負けだ。つかまえるこつは、発育のおそい子雀を探し、それを徹底的に追い回すことだ。そのうち子雀は疲れて動けなくなる。〉

・	・	・	・
①	①	①	①
②	②	②	②
形	形	形	形

7 次の文章から、①形容動詞をそのままの形で四つ書き抜いて答えなさい。また、②その活用形を書いて答えなさい。

□〈内気でおとなしい美香は、新しいクラスになじめずにいた。その美香に最初に声をかけたのは、学級委員の優子だった。積極的な性格の優子といっしょに行動するうちに、ひかえめだった美香が、しだいに活発になっていった。〉

・	・	・	・
①	①	①	①
②	②	②	②
形	形	形	形